

平成30年度 第14回
柏原市子ども・子育て会議
議事録

日時：平成30年12月12日（水）14時～16時

場所：柏原市立健康福祉センター オアシス

参加者：上村 明子（柏原市PTA協議会母親部会長）
小松 孝至（大阪教育大学教育学部准教授）
住本 和弥（柏原市労働組合協議会代表）
田中 昌之（柏原市私立幼稚園代表 第二白鳩幼稚園園長）
谷向 みつえ（関西福祉科学大学社会福祉学部教授）
西 育代（主任児童委員）
藤井 謙昌（柏原市民間保育園協議会代表 みずほ保育園園長）
二葉 義弘（柏原市市民代表）

（事務局）

北西課長（健康福祉部こども政策課）
松本課長補佐（健康福祉部こども政策課）
石橋課長（健康福祉部こども育成課）
巽 課長補佐（健康福祉部こども育成課）
兼嶋主査（健康福祉部こども政策課子育て支援係）

（欠席）

柴田 裕紀子（柏原市放課後児童会連絡会代表）
西村 龍夫（柏原市医師会代表）
横山 真貴子（奈良教育大学教授）

議事次第

1. 開会
2. 開会のあいさつ
3. 会長あいさつ
4. 委員紹介
5. 事務局紹介
6. 議事
 - (1) 柏原市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定のためのアンケート調査項目について
 - (2) 柏原市子ども・子育て支援事業計画（第1期）の進捗状況について
 - (3) 認定こども園関西女子短期大学付属幼稚園の利用定員の変更について
 - (4) （仮称）かしわら認定こども園整備進捗状況及び今後の公立幼稚園及び公立保育所再編整備について
 - (5) 連絡事項
 - (6) その他

7. 閉会

1. 開会
2. 開会のあいさつ
北西課長

3. 会長あいさつ
谷向会長
4. 委員紹介
【各委員】
(自己紹介)
5. 事務局紹介
【事務局】
(自己紹介)

6. 議事

(1) 柏原市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定のためのアンケート調査項目について

【谷向会長】

それでは、次第に従いまして、案件の説明を受けたいと思います。

【事務局】

(資料確認)

資料2の1と2の2 柏原市子ども・子育て支援事業計画（第2期）策定のためのアンケート調査項目（案）に基づき説明いたします。

「子ども・子育て支援事業計画」は、子ども・子育て支援法で市町村は地域の子ども・子育て支援事業の提供体制の確保などを記載して計画の策定が義務づけられております。これに基づき、平成27年に「柏原市子ども・子育て支援事業計画（こども未来プラン）」を策定しました。この計画は計画期間が5年となっており、第1期は平成27年度から32年度となっております。このたび第2期子ども・子育て支援事業計画を策定するために、まずアンケート調査を行うものです。前回調査の回収率は就学前が1,200人に発送して656人の回収で54.7%、小学生が800人に発送して393人の回収で49.1%でした。今回の回収率目標を55%とさせていただき、許容誤差5%、信頼率99%の設定で算出し、各年齢170人を抽出しました。就学前児童合計1,020人、小学生合計1,020人、合計2,040人を対象に調査を行うことにいたしました。

調査期間ですが、今回は1月初めに発送し、2月1日までを投函期間といたします。以上が調査の概要です。続きまして、就学前児童を対象にしたアンケートの設問を1つずつ見ていきたいと思います。このアンケート調査については、国・府のひな形が示されておりまして、府においてもそれに基づき集約を行うことになっていきますので、大幅な項目の変更はしない前提とさせていただきます。平成25年度実施分との変更点としては、冒頭の制度説明等をカットして、ページ数を減らして郵送料を低減する方向で考えました。

問1、問2は前回と同じです。

問3の「（ ）内」という表現は前は「枠内」としていたのを、今回は「（ ）内」に統一しました。

問4、問5は前回と同じです。

問6は、前回「子どもがほしい」となっていたのですが、今回は、府設定の表現に合わせて「もう1人以上の子どもを生みたいと思いますか。」としました。西村先生に事前にメールでご意見をいただき、この部分を「子どもは何人が理想でしょうか」に、というご意見ですが、いかがでしょうか。

【谷向会長】

国の標準的な聞き方では「子どもは何人ほしいですか」ですか。

【事務局】

それが国・府の設定になっています。

西村先生からのご意見で「『何人が理想ですか』はどうでしょうか」というのがありました。

【谷向会長】

「生む」ということに引っかけのある方がいらっしゃるのではないかとということでしょうか。

【小松副会長】

西村先生は「何人が理想ですか」が良いというご意見で、「生みたい」はどこから出てきたんですか。

【事務局】

「生みたい」は、前回の問6で「生みたい」。西村先生からご意見が出ていたのは、「産」の「産みたい」と「生きる」の「生みたい」の使い方、「一般的には出産の産ではないか」ということと、「この設問はお父さんが回答するときには成り立たないのではないか」ということで「子どもとして理想は何人ですか」というご意見。お父さんが回答することも考慮されてということですよ。

【小松副会長】

「生みたい」の案を作られたのは、どこからですか。

【事務局】

もともと国・府では、問6では「生みたい」、問5は「ほしい」となっています。

【小松副会長】

個人的な意見ですが、出産してお子さんがおられる方ばかりではないと思います。父親が回答する場合もあるし、いろいろな事情とかお子さんのことを考えた時にこの言葉に限定するのは「回答しづらい」ということも起こるのではないかと思います。

【谷向会長】

今、「うむ」の漢字が「生」か「産」か、あるいは「ほしいか」という3つの案が出ていますが、これが検討課題ですか。

【事務局】

国では「何人ほしいですか」というのを「何人が理想ですか」ということで。

【谷向会長】

特に皆さんご意見がないようでしたら。

【事務局】

このまま案の通り「ほしいですか」ではなくて「理想は何人ですか」にするのがよいでしょうか。

【谷向会長】

「理想は何人ですか」というのは西村先生のご意見ですか。

【事務局】

そうです。「理想」と「実際ほしい」というのは、とる人によっては若干ちがうかなというのはあります。

【谷向会長】

文言を変えたら少し答え方の気持ちが変わってしまうので、問5は、国では「子どもは何人ほしいですか」なら、できれば国に合わせたほうがいいのではないかと思います。その配慮をどうするかということですよ。

【事務局】

問6の「うみたい」の漢字は国などが示している分では「生」となっています。

【小松副会長】

国がやっている調査だからといって「100%正しい」とか「100%妥当である」とは必ずしも言えません。逆に言うと「国に対してどこの自治体もこれはおかしいと言っていないのか」という気がするのですが。

【事務局】

他市の状況等は、ちょっとわからないです。

【小松副会長】

前はどのようになっていたのですか。

【事務局】

前は「ほしい」です。問6は「子どもがほしいと思いますか」となっています。問6-1も「ほしい」となっています。国が「生みたい」となっていたので、今回はそちらに合わせることで案を作らせていただいたのですが。

【小松副会長】

前回と同様「ほしい」ほうがいいのか「生みたい」と国のほうに合わせたほうがいいのかというところがありますが、ここはどうでしょうか。

【谷向会長】

委員の皆様は何かご意見ありませんか。

【二葉委員】

このアンケートは、この冒頭を書いてあるように、子どもを無作為に2,000人抽出するということなら、対象とされる人達は子どもを育てている途中だけれど、子どもが大きくなった人も含むのですか。いろいろな幅のあるアンケートではないでしょうか。

【事務局】

0歳から11歳までのお子様がいらっしゃる家庭を対象にしています。

【二葉委員】

大きい方もおられるでしょう。ある程度家庭的に「もういいや」というところもあるのではありませんか。

【事務局】

基本的に年齢毎に170人取りますので。0歳のいらっしゃる家庭、1歳2歳もそれぞれ170家庭に送付させていただきます。

【二葉委員】

このアンケートをどういうことに生かそうとしているのか、反対に対象の人たちの声を率直に聞こうとされているのか、私は、そこの幅をどこに視点を置くかで決まってくると思います。ぱっと「ほしい」と率直に聞くのか、そうじゃなく抽象的に声を聞きたいなら幅を持った聞き方のほうがアンケートとしては正しいと思います。

アンケートをされるほうとアンケートをやるほうとの考えにあまり共通点がないように思います。どちらかに絞ったほうがよいのではないですか。私の考え方としてはあまり絞らないほうがいいのかと。 「理想」というふうにぼかしたほうが私はいいと思います。

【谷向会長】

このデータは国で統合されるんですか。

【事務局】

大阪府が集約することになるのかなと思います。

【谷向会長】

男性が答えるといろいろなご事情があるし、今はいろいろな親子関係もあるので、そういう方が「生みたい」という言葉を聞かれた時にどう感じるかということへの配慮は必要だと思うのですが、調査という点においてはできる限り統一させたほうがいいと思います。

【田中委員】

この回答を記入する人は父親か母親かを書いてないが、「うむ」という字が「生」か「産」というのは回答者によってニュアンスがちょっと違うような気がします。

問6-3の下の回答にもかかってくると思いますが、あまり父親・母親を気にしないでするならば、記入するのは「生」のほうがいいと思います。「産」と書いてしまうとお父さんは「私ら関係ないわ」とパス

してしまう可能性もあり得る。「産」と書いてあったら男性はパスするような気がします。

【谷向会長】

「生む」といえば「生きる」の字になると思いますが、これは府などに問い合わせすることはできますか。

【事務局】

今回は「ほしい」という形にしていますが、そこは何も言われなかったと思います。問6-1についても「もう1人子どもをほしいと思いますか」。国が「生みたい」となっていたので、今回はそちらに合わせるということで「生みたい」という形にさせていただきました。

【小松副会長】

「ほしい」に何か意見がついて、敢えてこういう表現に直したのであればその理由は明らかになりますが、何故この修正をされたのかまったくわかりません。いろいろな事情を考えた時に個人的には非常に気になります。今会長がおっしゃったように理由があるのか、府として集計する時に統一する必要があるのかということについて意見がついているかどうかも含めて問合せいただくことはできますか。

【事務局】

前回調査では、国・府の「生みたい」に対して、柏原市は「ほしい」としていたということです。今回は国がもともとそうだったから「生みたい」にしたほうがいいのかと原案で変えたのですが、会議で、いろいろな人の感じ方で問題があるというところのお話で、「ほしい」のほうがいいのかというのであれば、その前に確認はさせてはもらいますけど、そこは市の裁量で変更してもいいのかというところではあります。

【谷向会長】

「配慮が必要なのではないか」というご意見とともに、柏原市では前回「ほしい」で実施したので「ほしい」という文言でもいいのか、やはり調査として厳密に合わせる必要があるならば「生きる」のほうがよい。それは確認していただければよろしいでしょうか。

【事務局】

わかりました。

【藤井委員】

もともと「誰に書いてもらってください」というのはないのですか。

【事務局】

問2で、「この調査票にご回答いただく方はどなたですか」と聞いています。「誰に答えて下さい」というのは「家族の方に答えていただきたい」という形でアンケートを送っています。

【藤井委員】

父母のどちらが書くかはわからない。

【事務局】

お二人で考えて書かれるところもあるかもしれません。ただ、どなたが主に答えるかというのは設問2で聞いています。

【西委員】

ふつうは女性、お母さんが多い。さらっと読むところだと思います。「生みたい」も「ほしい」も願望的な同じ言葉なので、「ほしいですか」からいけば次の「ほしい」でいったほうがよい。問5が「ほしい」でいけるなら同じ表現で合わせたほうが良いと思います。

もし文言を変えられるのであれば、父親の立場は考えたことがなかったので、今、そういう発言を聞いてお父さんが書かれた場合そうなんだと今、思いました。母親としては女性なので、子どもに対してもうちよっとうかなと常に考えることが多いと思います。オブラートにくるんで言っても大丈夫なのかと思いました。

【事務局】

問7 「封筒のあて名のお子さんが一緒に住んでいる人はどなたですか。また、近所に祖父母が住んでいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。」、問8 「封筒の宛名のお子さんの子育てや教育を主に行っている方はどなたですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。選択肢はあて名のお子さんからみた関係です。」これも何も変わっていません。もしも何かご意見ありましたら質問のあとに言っていただいてもいいと思います。

問9は、前回はなかったのですが、もともとの府設問の設定にありましたので、追加させていただいています。「封筒のあて名のお子さんの面倒をみてくれる人はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください」という設問を追加しています。

問10 「あて名のお子さんの子育てや教育について、気軽に相談できる人や場所はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください」。ここでは、幼稚園の先生のところは「幼稚園や保育所市役所（園）等の先生」という形に1つにまとめます。

【谷向会長】

「こども園」は入りますか。

【事務局】

「等」に含みます。

【小松副会長】

まだ「携帯電話」と皆さんおっしゃるのですかね。

【住本委員】

使っている方もおられる。

【小松副会長】

「携帯」という言葉がまだ通じているという理解でよろしいですか。

【事務局】

今は、一般的に「スマホのほうがいい」というところがあります。

問11、問12は、以前はひな形の設問通りに「お父さんについて、お母さんについて」という流れでなっていたんですけど。それを、問11でお母さんについて、問12でお父さんについてということで分けました。交互に聞いていくと抜けたりすることがあるので、交互に答えるより分けたほうがいいんじゃないかというところで分けました。

問13 「平日に、幼稚園や保育所（園）などの施設やサービスを『定期的に』利用していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください」で、1の「利用している」を選ばれた方について。

問13-1 「封筒のあて名のお子さんは、現在どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて定期的に利用されている施設やサービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください」。こちらの選択肢の中で、4. 小規模な保育施設、5. 認定こども園（幼稚園部分）、6. 認定こども園（幼稚園部分）+預かり保育、7. 認定こども園（保育所部分）、8. 事業所内保育施設、企業主導型保育施設、9. 家庭的保育という選択肢を追加しています。認定こども園を細かく分けていますが、このようなかたちでよろしいでしょうか。あと、子育て支援でも14. 児童発達支援を行う施設を追加しています。

問13-2 「あなたが現在利用している幼稚園や保育所（園）などの施設やサービスについて、もっとも多いパターンとして、1週間に何日利用し、また、1日あたり何時間利用していますか。ま

た、希望としてはどのくらい利用したいですか。（ ）内に具体的数字を入れてください。時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制で記入してください。」

問13-3 「現在利用されている施設はどこにありますか。主に利用している施設にあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。「2.」を選択した方は（ ）内に具体的な市町村名を記入してください。」こちらの設問も追加しています。

問13-4 幼稚園や保育所、園などの施設やサービスを利用されている理由について、もっともあてはまる番号に○をつけてください。

問13-3、問13-4は国・府で設問設定がありましたので、今回追加しています。

問13-5 幼稚園や保育所（園）などの施設サービスを利用していない理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。「8.」を選択した人は、（ ）内に具体的数字を入れてください。

問14 封筒のあて名のお子さんが病気になったときの対応についておうかがいします。この1年間に、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所（園）などのサービスを利用できなかったことはありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。この1年間に「あった」と答えた方は14-1へ。

問14-1 この1年間で、封筒のあて名のお子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所（園）などのサービスを利用できなかった場合の対処方法はどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、その日数について（ ）内に具体的な数字を入れてください。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

問14-2 子どもの病気のために仕事を休んだ際、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は（ ）内に日数を入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するにあたっては、一定の利用料が発生します。

問14-3 病気の子どものための保育施設などを利用する場合、下記のいずれのサービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問14-4 病気の子どものための保育施設などを「利用したいと思わない」理由について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問15 現在利用している、利用していないにかかわらず、平日に封筒のあて名のお子さんに「定期的に」利用させたい、あるいは、保護者が定期的に利用したいと考える幼稚園や保育所（園）などの施設やサービスはありますか。ある場合は、あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するにあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。

選択肢は、先ほどの問13-1と同様の施設の構成になっています。

問15-1 特に、幼稚園（預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。あてはまる番号に○をつけてください。こちらの質問は、国から今回「第1期ではなかった項目につきまして、この第2期で追加をしてほしい」という指示があった設問になっています。

問16 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日に、幼稚園や保育所（園）などの利用希望がありますか。（仕事や介護などによる定期的な利用で、一時的な利用は除きます。）あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制でご記入ください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

問17 夏休み・冬休みなど長期休暇中に、幼稚園の利用を希望しますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある場合は、（ ）内に具体的な数字を入れてください。時間は、必ず（9：00～18：00）のように24時間制で記入してください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

問18 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業を取りましたか。母親・父親それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。それぞれ「2.」を選ばれた場合は、育児休業を取得された、あるいは、取得予定の日数について（ ）内に数字を入れてください。また、「3.」「4.」選ばれた場合は、その理由を下の選択肢枠内の選択肢の中からあてはまる番号すべてを選び、その番号を記入してください。

問18-1 育児休業を取った後、職場に復帰しましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。（問18で、母親・父親のどちらかだけが「2.」を選んでいる場合は、一方は空白にして

ください)

問18-2 育児休業を取ったあと、「実際」にお子さんが何歳何カ月のときに職場復帰しましたか。また、職場の育児休業の制度の期間内でのこととなりますが、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで育児休業を取りたかったですか。()内に具体的な数字を記入してください。

(問17-1で、母親・父親のどちらかだけが「1.」を選んでいない場合は、一方は空白にしてください)

問18-3 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何カ月のときまで取りたかったですか。枠内に具体的な数字をご記入ください。

(問17-1で、母親・父親のどちらかだけが「1.」を選んでいない場合は、一方は空白にしてください)

問19 「1日当たりにお子さんと一緒に過ごす時間(睡眠時間も含む)」となっているのですが、今、業者の方ともお話をしていたのですが、他市でここを府のほうに確認したところ「睡眠時間を含まない」ということみたいですので、前回の調査でも実は「含む」となっていたのですが、その結果がほぼ全部12時間以上ということになって逆に含んでいると長くなってしまいますので、今回は「含まない」ということでさせていただきます。今回は「睡眠時間は含まずに一緒に過ごす時間はどれくらいですか」という質問にさせていただきます。「また、その時間は十分だと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください」。

問20 1日当たり、家事(育児は除く)を何時間くらいしますか。()内に具体的な数字を記入してください。

問21 仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問22 小学校低学年(1~3年生)のうち、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、()内に具体的な数字を入れてください。

「放課後児童会(学童保育)」を選択された場合には、利用を希望する時間についても()内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

こちらのほうに今回7番として、「放課後等デイサービス」という項目を追加しています。

【谷向会長】

放課後等デイサービスとは障がい児のためのサービスですね。小学生が利用するのですか。

【事務局】

今聞いているのは就学前の方ですが、小学校に上がった時にどこでということを入れていきます。

【谷向会長】

将来の希望ということですね。

【田中委員】

12ページの間18-3に「問17-1」とありますが、問17-1という項目はありません。

【事務局】

これは、「問18-1」の間違いです。問18-2についても()内は同じ「問18-1」です。

問22 小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する1週間の利用日数について、()内に具体的な数字を入れてください。

「放課後児童会(学童保育)」を選択された場合には、利用を希望する時間についても()内に具体的な数字を入れてください。時間は必ず(18:00)のように24時間制で記入してください。

こちらについても同じく7番に「放課後等デイサービス」を追加しています。

問24 土曜日、日曜日・祝日に、放課後児童会(学童保育)の利用希望はありますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に

(9:00~18:00)のように24時間制で入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

問25 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休み中の放課後児童会(学童保育)の利用希望はありますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。また、利用したい時間帯を、()内に(9:00~18:00)のように24時間制で入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

問26 「私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、「不定期に」子どもを預けるサービスを利用したことがありますか。(幼稚園や保育所(園)などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)利用した場合は、利用したサービスの番号すべてに○をつけ、利用したサービスごとに1年間のおおよその利用日数を記入し、合計の()内についても記入してください。」は、「年間合計についても()内に記入してください。」に訂正させていただきます。

【小松副会長】

2. 利用していない人が「問26へ」となると、ぐるぐる回ってしまうので、「問27へ」の間違いですね。同様に問27も「問28へ」ですよ。

【事務局】

問27 「私用、ご自身や配偶者の親の通院、不定期な仕事などを理由として、保育施設などで実施されている「一時預かり」を利用したいと思いませんか。(幼稚園や保育所(園)などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。)あてはまる利用したい目的の番号すべてに○をつけ、利用したい目的ごとに1年間のおおよその利用日数を記入し、」ここも先ほどと同じです。修正をしていただいて、「利用する必要はない」は「問28へ」とさせていただきます。

表の1と2の間の実線を破線に修正します。

問27-1 問27の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの子育て支援サービスが望ましいと思われますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生します。

問28 「この1年間に、冠婚葬祭、家族の病気など保護者の用事により、泊まりがけで家族以外の誰かにみてもらわないといけないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)」あつた場合は、あてはまる対処方法の番号すべてに○をつけ、その対処方法ごとに1年間のおおよその利用日数を記入し、」の「合計についても()内に記入してください。」に訂正させていただきます。これも「なかった」の場合は「問29へ」。

問29 現在、地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場など)を利用していますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、おおよその利用回数について、()内に具体的な数字を入れてください。

問30 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場など)について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、希望がある方は()内に具体的な数字を入れてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生する場合があります。

問30-1 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター、つどいの広場など)を利用するにあたって、どのようなサービスを利用したいですか。利用したいサービスを3つまで○をつけてください。なお、これらの施設やサービスを利用するときは、一定の利用料が発生する場合があります。

問31 下記の施設やサービスを知っていたり、利用したりしたことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

(1) 機関などの④地域子育て支援センターの()内に、スキップKIDS、ハローKIDS、ハーモニーという施設名を追加しています。同じように⑥についてもほっとステーション、たまてばこ、ごんちゃんの施設名を追加しています。前回“つどいの広場”の“広場”はひらがなだったので、正式な表記に訂正します。⑦は、以前は八尾保健所でしたが、今は藤井寺保健所に変更されています。

(2) サービス ③の文言中に「つどいの広場」を加えています。④は、以前は「保育所」と書いていたのですが、保育所の代わりにつどいの広場を入れて、⑦として「保育所(園)での相談」とい

う形で独立させています。⑥教育研究所、前は教育相談所となっていますがこちらも教育研究所に変更しています。

⑪の公園ラリー（公園での親子遊びなど）につきましても、前は「青空保育」となっていますが、現在は公園ラリーになっているということで変更しています。

⑫についても、「子育てほっと情報」という冊子名を追加しています。

【田中委員】

（１）機関のところで、①保健センターはオアシスにあります。②児童相談室、③はどこにあるのかなあという気がしました。これはどこにあるのか書かれたら市民が喜ぶのと違うかなあと思います。

【事務局】

家庭児童相談室はオアシス内にあるんですけども、子育て相談窓口はいろんなところで相談を受けていますので。

【田中委員】

たくさんあるならたくさんあるで、「市内複数」と書いていただいたらどこかにあるとわかる。一箇所限定だと、相談に行くのにもそこへ電話すればよいので。

【事務局】

最後のページに一覧を掲載し、各施設でどのようなことをやっているかというのを載せさせておきます。子育て情報誌でも掲載させてもらっていますので。

【田中委員】

「最後のページをご覧ください」でもいいので、でないで、どこでやってるのかなと思います。

それともう一つ、サービスの８番の幼稚園での相談先をさきほど言われていたように認定こども園を入れてもらったほうがいいです。

【事務局】

問３２ 柏原市の子育て支援策に対し、要望はありますか。ある場合、どのような子育て支援策を望みますか。あてはまる番号に５つまで○をつけてください。

１． ２． ３． は、前は「親子が安心して集まれる」となっていたのですが、「安心して」を削除して「親子が集まれる公園」にしたいと思います。

【谷向会長】

その意図は何ですか。

【事務局】

「集まれる」ということでそもそも安心できる場所と考えるので「安心」という言葉が敢えて必要なのかと。４．の「子育てのバリアフリー化」に取り組むというところの前段に、「子連れでも安心して出かけられるよう」となっているのも前段が長くなるので、「子連れでも安心して出かけられるよう」というのは、先ほどと同じような意図で削除しました。こちらについてもどうでしょうか。

【田中委員】

私達は子どもを連れて行くのですが、お便所（市公営のトイレ）をきれいにしてほしい。それが「安心」だと思うのです。それを市がどれだけチェックできているか。そういうことで、これは「安心して」を取らなくても、上の方に議会に話を上げてもらうには、これはあったほうがいいのではないかと思います。

【事務局】

バリアフリーのところの４番に含まれているかと思います。

【田中委員】

それもあるでしょうね。ヘリポートのところでも便所が汚い。玉手山の遊園地も汚い。そういうところをチェックしてもらうのに、これはここから出させてもらうのがいいのではないかと思います。

【事務局】

そのニーズを4番で選択肢を設定させてもらっているところはあるんですけど、要望ですので。

【田中委員】

もうなくしたいと思われているのであれば、それで結構です。ただ、「柏原市の公営の便所は汚い」ということは話を上げてほしい。

【事務局】

それを議会の方にとというのは、この会議の目的から外れますので。

【田中委員】

ここだけの話として。でも、それは、このアンケートを取るについては、そのところはみんなも共有しないとイケないのではないかと思います。

家族で遊びに行くにしても、汚かったら「どこでおしっこさせろねん」ということになるし。

【事務局】

そういう意味でもやはり「安心して」というのは残しておいたほうがいいのではないかと思います。

【田中委員】

行政が気づいてくれるのかと思います。便所の掃除の回数を1週間に1回にするのか2回にするのか。便所が汚かったら若い世代は柏原市に住む意欲がなくなってくると思います。

【谷向会長】

気持ちとしては残しておいてほしいが、なくても意味は十分伝わります。

【事務局】

検討させていただきます。

この選択肢なのですが、ハード面とソフト面が入り混じった形になっているので、ハードとソフト、あとは職場等の項目の整理をして順番を変えます。

問33 お子さんの生活習慣について、それぞれあてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

問34 封筒のあて名のお子さんと外出される際、困ること、困ったことはありますか。ある場合は、あてはまる番号3つまで○をつけてください。というところで、これも3つと限定はせずに、府は「すべて」となっていたので、今回は「すべて」でもいいかなと思いました。

【谷向会長】

皆さんいかがですか。はい。よろしいんじゃないでしょうか。

【事務局】

問35 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

問36 お住まいの地域の子どもの遊び場について日ごろ感じることはありませんか。ある場合、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問37 近所（お住まいの近く）で日常的にちょっとした子どもの話や世間話をする人はいますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

こちらのほうは府のひな形にこの設問があり、前回は載せていませんでしたので、追加しました。

問38 ご自身にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと感じ

ることが多いと思いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

問38-1 子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

問38-2 あなたにとって子育てのつらさを解消するために必要な支援・対策は何ですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

問39 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることはありますか。ある場合、それぞれあてはまる番号すべてに○をつけてください。

問40 ご自身の子育てが、地域の人に支えられていると感じますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

問40-1 ご自身の子育ては、特に地域の誰から支えられていると感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

西村先生のご意見もありましたので、こちらには「かかりつけの医師」を追加します。

問40-2 ご自身の子育ては、特に誰に支えてほしいと感じますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

問41 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、ご自由に記入してください。（幼稚園・保育所（園）・学童保育のことなど）

最後に、前は公園に関する設問がありました。「よく利用する公園はありますか。また、それはどこの地区ですか」という設問だったのですが、具体的な公園名の記載等はなく、回答結果をうまく活用できなかったため、今回はその設問を割愛しました。以上が就学前児童に関するアンケートです。

【藤井委員】

問40-1の5. は、幼稚園、保育所（園）等にするので、どうでしょうか。

【事務局】

そうですね。

【谷向会長】

市役所の職員というのは具体的には誰を想定していますか。

【事務局】

まず相談員がいます。子ども関係の職員とか障がいの方とかいろいろな職員に相談されている方もいらっしゃるので、そういった方が基本的な想定なのかなと思うのですけれども。

【谷向会長】

（相談員）という感じですか。

【事務局】

基本的にはそうなるかなと思います。よく話をしに来られる方もいらっしゃるかもしれないですけど。

【谷向会長】

保育士、保健師などは。

【事務局】

保育所だと、保育所の職員もありますので。保健師は保健センター等の市職員になります。

【谷向会長】

くくったほうがわかりやすいかと思いました。

【田中委員】

道で安全旗を持ってしてくださる人はこの3番に入るということですか。

【事務局】

そうですね。見守りということ。

【西委員】

福祉関係の子育て支援を地域でたくさんしていると思います。来ていただいているお子さん方もそんなにたくさんではありませんが、毎月行われているものがあるので、まったく限定されてお名前を書かれると、そういうのがどこに入るのかと。例えば福祉委員の中で子育て支援をされているのがあるんですけども、そういうのを“つどいの広場”、“子育て支援センター”の何々って（ ）の中に書かれると、来られている人はどこの欄がいいか悩まれると思うので、その他という形でちょっと入れておいていただけたらやっている側にとってもとてもうれしいのですが。

【事務局】

（ ）の中にその他を入れておくということですね。

【西委員】

例えば問31で「利用したりしたことはありますか」というところでも、「その他」に行かれる市内の子育て支援関係に行かれる方はどこに書けばいいのか悩まれたりするのです。そういうことが目的ではないのかもわかりませんが、ちょっと入れていただけたらやっている者にとってもうれしいと思います。入れられるのであれば、登下校の見守りとかで入っておられる方がいらっしゃるのです、そういうこともちょっと書いていただきたい。

【小松副会長】

問32の13番。育児休業とか扶養控除とかというのは、柏原市の子育て支援策と言っていいのですか。これは市で決められているのですか。市で「意見が多いから増やしましょう」と言って増やせるのですか。全体の施策としてというならいいと思うんですけど、敢えて「市の」と書いて聞かれているので、ちょっと気になります。ここだけ何か違う気がします。

【住本委員】

これは要望なのでいいのでは。

【小松副会長】

市に要望と言って聞いているから、市が要望を受けて上に挙げられるならいいのですが。

【田中委員】

幼児教育の無償化はここに入るのですか。児童手当がひっかかるのではないかと思います。

【事務局】

就学前児童については、こんなかたちでよろしいでしょうか。（承認）

小学生については、ほぼ同じ内容になるので変更した点だけ報告させていただきます。

問8-1に9放課後等デイサービスのスタッフを追加、6で小学校等に修正。問9と問10は母親と父親を分けました。内容は同じで組み替えているところがあります。問12にも放課後等デイサービスを追加しています。問20では「安心して」を割愛、問22に放課後等デイサービスを追加、府のひな形にありましたので問28の設問を追加しました。問31-1と31-2にかかりつけの医師を追加しています。

就学前と同じく公園の設問を削除しています。全体通して何かご意見ありますでしょうか。

【藤井委員】

1年生が一人目のお子さんの家庭にアンケートが行くとすると、就学前のようにもっと子どもがほしいかどうかの設問はないのですか。どういう意図で分けておられるのか。

【事務局】

国・府の設問を基にしているのですが、小学生向けには、そこまで聞いていないということです。

【藤井委員】

きょうだいがいる子どものところにも行くのですか。

【事務局】

あて名のお子さんについて答えてもらうことになっています。

【谷向会長】

一般的には就学前児童のほうが要望が多いです。

【藤井委員】

どういった理由で差をつけているのかを知りたかったのです。

【谷向会長】

問31-1の選択肢は決まっているのですか。今でしたら、塾とか習い事の先生を頼りにしている親も多いのではないかと思います。

【事務局】

協議して検討します。

アンケートの結果が出ましたら、年度内にお集まりいただいて協議していただくこととなります。

【小松副会長】

何のために調査するのかに関連して、市の結果を国が吸い上げてまとめるのかどうか、どのように公表されるのか、後でも良いので分かるのなら教えてもらいたいです。

【谷向会長】

5年前の調査は、どこかに公表されているのですか。分かれば知らせてください。

【藤井委員】

表記が違うところがあるので、表記や順番の細かいところをチェックしてください。

【事務局】

資料3の説明（1.教育・保育施設 1号認定、2号認定）

2号認定は、前年度と今年度の実績の差が、関西女子短期大学附属幼稚園の認定こども園移行による人数となっています。（3号認定）

参考までに平成31年度に関西女子短期大学こども園で3号の受入の計画を考慮した数字を一番下に記載しています。

続いて、地域子ども・子育て支援事業の実績を報告します。（前年度の計画値と実績値を報告）

【谷向会長】

世の中の情勢が「働き方改革」に変わってきていますので、5年前とは情勢が変化しています。委員の皆さんからのご意見はありませんでしょうか。

【藤井委員】

今の結果資料で、延長保育は実人数で、一時預り保育は延日数になっているのはなぜですか。

【小松副会長】

延長保育は、一人の児童について1年を通して申込むので実人数で、一時預りは、その都度申込むので、延日数になっているのかと思いました。

【田中委員】

幼稚園の預かりで、通常保育時間帯の前に預かる場合と、後に預かる場合があって、それぞれ同じ子どもでもカウントは2区分となります。

親が迎えに来れない場合、親から依頼された人が子どもを迎えに来て、その人が子どもに食事を食べさせ場合によっては風呂まで入れるというケースが増えています。保育園では対応できない長時間の一時預かりを必要とする保護者が増えています。

【事務局】

実績の報告の仕方ですが、アンケート調査の項目と同様に、実数か延数かは国から指定されています。中身としては、小松先生のおっしゃったような趣旨だと思います。

【事務局】

資料4の説明をします。

認定こども園関西女子短期大学附属幼稚園の3号受入により、利用定員が34人増加となります。

【谷向会長】

委員の皆さんのご意見がなければ次に進んでください。

【事務局】

案件(4) (仮称) かしわら認定こども園整備進捗状況の説明をします。

(資料5の説明)

再編整備計画を踏まえて、柏原西幼稚園と柏原保育所を再編整備して認定こども園として整備します。来年1月から3月の間で工事業者の選定に入ります。6月に市議会で議決後7月から工事に着工し、平成32年度に新園舎完成の予定です。準備が整い次第0歳児保育の受入を始める予定です。

次の資料「今後の公立幼稚園及び公立保育所の再編整備について」ですが、柏原地区以外にも国分地区、堅下地区は平成33年度以降に再編整備を予定しているということまでお示ししています。ただ、公立幼稚園の入園児童数の急激な減少も続いているので早期に再編整備をするかどうかの可否についての検討も必要になっています。この資料では、各地区での認定こども園候補地検討の例として案を示しています。堅下地区の候補地では、平野スポーツ広場、もう一つは平成30年度に廃園した堅下北幼稚園跡地を挙げています。それぞれの特徴と課題を挙げています。国分地区については、玉手エリアで玉手幼稚園と円明保育所再編の候補地として、一つは玉手幼稚園をそのまま使う、もう一つは玉手浄水場を挙げています。玉手幼稚園を運営しながら新築工事を行うのは、かなり難しいかと思っています。最後に国分地区については、用地調査を行っているところです。

今後進捗や検討内容について随時報告させていただき、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

【小松副会長】

1点、3号認定の実績でマイナスがあるのは足りていないという理解でよいですか。

【事務局】

待機も出ているので、不足している状態です。

【小松副会長】

今後の具体的な見通しは立てておられますか。

【事務局】

平成30年4月時点で12人の待機があります。来年4月から認定こども園関西女子短期大学附属幼稚園の3号受入が始まります。公立のかしわらこども園でも3号の受入を予定していますので、今後整備していく計画です。

【谷向会長】

かしわら認定こども園では、0歳児6人、1歳児15人が純増ということですね。

【事務局】

そうです。

【谷向会長】

純増があるけれども、待機児童とトントンくらいという感じでしょうか。

【事務局】

出生数は減っていますが、待機児童は減っていません。いずれは頭打ちになるのですが、当面は横ばいかと思っています。

【小松副会長】

要するに0歳児から預けて働きたい人が増えていると理解してよいでしょうか。

【谷向会長】

頭打ちになるかどうかは、どうなのでしょう。

【藤井委員】

この再編計画は、前回のアンケートを参考にして考えられたものでしょうか。

【事務局】

計画とは別に地域の状況に応じて考えています。

【藤井委員】

もし関連しているのなら、調査も地域別に集計しないといけないと思いました。

【事務局】

市によっては複数の区域を設定しているところもありますが、柏原市では市全体を1つの区域と設定しています。

【藤井委員】

再編計画についてのアンケートか何かを予定していますか。

【事務局】

再編計画についてのパブリックコメントなどは行うと思いますが、アンケート調査までは考えていません。

【藤井委員】

最近都心でも、ニーズのあるところとないところの差が生じています。柏原は区域割がないとしても地域によってニーズの違いがあると思うのでお聞きしました。

【谷向会長】

いろいろな要素で認可が決まるということです。

【事務局】

案件は以上です。

【小松副会長】

(閉会あいさつ)